福岡市 Well-being＆SDGs 登録制度：マスター

事業者名	九州旅客鉄道株式会社
代表者名	古宮　洋二
所在地	812-8566 福岡市博多区博多駅前 3 丁目 25-21
電話番号	092-474-0747
ホームページ	

Well-being 向上に向けた取組み	・当社は、全ての従業員が健康で働きやすく、安全な職場環境の整備に努め、働きがいの持てる職場づくりを進めています。		
アンケート実施	○	**アンケートの社内共有**	○

SDGs達成に向けた取組みチェックシート

カテゴリ	チェック項目	3側面該当 環境	社会	経済	具体的な取組	関連する主なSDGs 1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
人権・労働	**【ダイバーシティ経営の促進】** ・多様な人材(女性、外国人、障がい者、高齢者、性的マイノリティ等)が、十分に活躍できる環境が整備されている。		○	○	・当社は採用にあたって、多様性を重視し、性別、国籍等の区別なく、平等な選考方針を採っています。 ・当社では、女性がいきいきと働き続けることのできる雇用環境の整備を行うことにより、女性をはじめ、あらゆる社員が意欲と働きがいをもって働ける企業を目指し、女性の活躍推進について積極的に取り組んでいます。女性の活躍推進に関する取り組みの実施状況等が優良な企業として、2019年11月11日に厚生労働省より「えるぼし(2段階目)」認定を受けました。					○			○		○							
	【多様な働き方の促進】 ・テレワーク制度の実施やフレックスタイム制、時差出勤制度を導入し柔軟な勤務形態をとっている。 ・ワークライフバランスを推進しています。。		○	○	・多様な働き方の実現とワークライフバランスの向上を目的に、テレワークを導入するとともに、一部の職場でフレックスタイム制を適用しています。 ・従業員が仕事と子育てを両立させることができる働きやすい環境づくりにも積極的に取り組んでいます。具体的には、3歳に満たない子を養育する従業員に対して、1日の労働時間を短縮する制度(短時間勤務制度)や小学校第6学年修了までの子又は特別支援学校等修了までの子を養育する従業員が、月5日を限度として無給休暇(養育休暇)を取得できる制度を導入しています。 ・当社では、次世代育成支援対策推進法(平成15年法律第120号)第15条の2に基づく、厚生労働省の次世代特例認定マーク「プラチナくるみん」を2021年12月13日に取得しました。当社では、今後とも「社員が仕事と子育てを両立させること」「社員全員が働きやすい職場をつくること」を基本方針として、次世代育成支援対策について積極的に取り組んでいます。					○			○		○							
	【人権の尊重】 ・ハラスメントの防止など人権が尊重された職場づくりのため、ルールが定められ、教育・相談体制が整備されている。		○	○	・当社グループは、人権尊重の取り組みを推進し、その責務を果たすための指針として、「JR九州グループ人権基本方針」を定めています。					○			○		○						○	
	【従業員の心と体の健康への配慮】 ・長時間労働の是正に取り組んでいる。 ・従業員のメンタルヘルスを良い環境で維持できるように対策に取り組んでいる。 ・従業員への健康投資による生産性の向上等に取り組んでいる。		○	○	・従業員の長時間労働の抑制を図り、ワークライフバランスを更に推進するために、時間外労働限度時間を1日8時間、時間外労働及び休日労働を合わせた限度時間を原則として1か月45時間、1年間360時間などとするルールを定め、労働時間管理を実施しています。 ・2021年4月に「JR九州グループ健康宣言」を制定しました。社員一人ひとりが『元気』に“いきいき”と活躍することで、さらなる『地域の元気』をつくっていけるよう、グループ一体となって健康経営を推進しています。 ・社員の健康管理を、経営的な視点で考え戦略的に実践する「健康経営」の取り組みが優良であると認められ「健康経営優良法人2022」の認定を受けています。			○					○									
	【人材育成】 ・従業員に適切な能力開発、教育訓練の機会を提供しています。。 ・職場体験やインターンシップの受入れ等、職業の学びの場を提供しています。。		○	○	・eラーニングを活用した研修を実施するとともに、様々な研修を実施しています。階層別研修では、新入社員研修、昇進者研修、新任管理者研修、管理職登用者研修など、各階層においてそれぞれの成長ステージに合わせた研修を実施しています。 ・当社で働くことの「やりがい」や「おもしろさ」を感じていただくことを目的としたインターンシップの受入れを実施しています。				○				○									
環境	**【廃棄物・有害化学物質の管理、3Rの推進】** ・廃棄物・有害化学物質の管理を適切に行い、また削減に努めている。 ・リデュース、リユース、リサイクルの推進を行っている。	○	○	○	・フロン排出抑制法やPRTR法などに基づき、適切な管理を行っている ・きっぷや制服のリサイクルを実施しています。 ・資料を電子化、会議室へのモニタ設置などペーパーレス化の取り組みを実施しています。 ・土木関連工事などにおいて、工法の検討を行い廃棄物排出量の削減を実施しています。			○								○	○					
	【温室効果ガスの排出削減】 ・省エネルギーや再生可能エネルギーの利活用など、温室効果ガスの排出削減に取り組んでいる。	○		○	・蓄電池電車やディーゼルハイブリッド車両のほか、エネルギー効率の良い省エネ型車両を導入しています。 ・博多駅などLED照明の導入を実施しています。							○					○	○				
環境	**【生物多様性、天然資源への配慮】** ・自社活動が生物多様性や生態系にどのような影響を与えるか確認して、持続可能な活動となるよう取り組んでいる。 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達を行っている。	○		○	・「ななつ星 in 九州」で生分解性の素材を使用したストローを使用しています。 ・「36ぷらす3」で提供するお弁当の容器に早生樹を原料とした容器を使用することでプラスチックごみの削減に寄与しています。												○	○	○	○		
	【水資源の有効活用】 ・自社の水の利用状況を適切に管理し、水の有効利用や節水に努めている。	○			・車両基地での排水を処理し、中水として再利用を行っています。 ・「Blossom HAKATA Premier」では再生水の利用、節水コマに加えて省水型機器の用いて水資源の節約を実施しています。						○											
製品・サービス	**【製品・サービスの安全性】** ・自社の製品・サービスの安全性や品質を確保するための仕組みを構築している。		○	○	・当社では、従業員の安全に関する「意見や気づき」及び「ヒヤリハット体験」、「想定ヒヤリハット」を共有し、事故や危険の芽を未然に防止するため「安全に関する社員の声」というシステムを活用しています。内容と対策を2週間以内に経営会議で報告し、その情報は社内ネットワークにより全従業員に開示しています。 ・当社ではお客さまから直接いただいたご意見に限らず、インターネットや電話など、様々なツールを通じて日々「お客さまの声」の収集に努めています。いただいたご意見は速やかに経営幹部に報告され審議を経た上で、2週間以内にお客さまへ回答するとともに社内で共有し、具体的な改善につなげています。			○									○					
	【社会課題解決】 ・社会課題の解決を意識した事業運営に取り組んでいる。 ・地域、大学、NPO、行政など多様な主体とのパートナーシップにより、社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる。	○	○	○	新たなモビリティサービス(MaaS)の分野において、第一交通産業株式会社及び西日本鉄道株式会社との連携を軸に、持続可能な公共交通ネットワークの構築に向けた取り組みを推進しています。									○		○						○
公正な事業慣行・組織体制	【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理しています。。		○		・個人情報などの保護に関する方針を策定しています。 ・社内研修を行い、情報管理のルールを周知徹底しています。 ・当社グループ全体のセキュリティ対策強化のため、情報セキュリティインシデントの発生に備えた取り組みを組織的に行うCSIRTを2019年3月に構築しました。																○	
	【法令遵守】 ・法令遵守の考え方が社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みが整備されている。		○		・当社グループでは、「JR九州グループ倫理行動憲章」を制定し、これを基本理念として、企業倫理の確立と法令遵守の徹底を図っています。 ・当社グループにおいて企業倫理を確立し、法令遵守を徹底するために必要な事項の審議機関として、JR九州の社長を委員長とする「JR九州グループ企業倫理委員会」を設置しています。また「JR九州グループ企業倫理ホットライン」に通報のあった内容は、「JR九州グループ企業倫理委員会」において、報告されます。																○	
	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標の社内への共有が行われている。			○	・当社グループでは、「 安全とサービスを基盤として九州、日本、そしてアジアの元気をつくる企業グループ」をあるべき姿として、社員一人ひとりが常に立ち返るべき拠り所として大切にしている「誠実」「成長と進化」「地域を元気に」という3つの「おこない」のもと、安全・安心なモビリティサービスの提供を中核に、地域の特性を活かしたまちづくりを通して、九州の持続的な発展に貢献していきます。 ・社内報やeラーニング等を通して、適時、経営理念・経営目標を社員に説明し、 共有しています。。								○									○
	【事業継続、事業承継】 ・事故や災害などの発生のおける事業継続計画を立案しています。。 ・事業承継に関する検討・対策を行っている。	○	○	○	・昨今の自然災害の頻発及び激甚化を踏まえて、着実な安全投資を行い、新幹線脱線対策や構造物の耐震補強の対策や、降雨による線路沿線斜面の落石・崩落防止等の対策を講じるほか、机上訓練や避難誘導訓練等を実施する等、ハード及びソフト両面の防災及び減災対策の強化に努めております。 ・緊急連絡網を作成し、緊急時の連絡体制を整備しています。 ・ 2020年3月期に実施した実効性評価では、後継者計画の策定の課題が挙げられ、指名・報酬諮問委員会における議論のうえ、後継者計画を策定しました。											○		○			○	